


重要なお知らせ

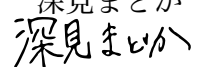
10月19日(水) に行われるデュオリサイタルに出演を予定しておりました、私、ジョセフ・アンドレが、数日前に所属先のパリ管弦楽団および同楽団のツアーマネジメント各社より、今回来日中の個人の演奏活動が一切不可能になったとの連絡を受けました。

コロナ禍のもと、日本の興行ビザに入管局が定める予測不能な制限事項が加わったことで、今回来日中は規模に関わらず団員個人による取材対応、リサイタル、マスタークラスなどの個人活動が一切認められなくなった、との通達でした。突然の出来事に私たちもひどく動揺し、楽団と共に10月19日のコンサート開催調整へ力を尽くしましたが、叶わず、私、ジョセフ・アンドレの出演を断念せざるを得なくなりました。

私たちは皆様に唯一無二のデュオ演奏をお届けできることを心待ちにしておりましたが、日本でのコロナ禍における外国人の活動制約のためにそれが叶わなくなったことが残念でなりません。また必ず近いうちに、私達のデュオを日本の皆様に披露できますことを願っております。

今回、ジョセフ・アンドレと深見まどかのデュオ公演を楽しみにしていただいていた皆様、ご協力頂いていた関係者の皆様には心よりお詫び申し上げます。

ジョセフ・アンドレ


深見まどか


10月19日公演は、様々な可能性の協議の結果、青山音楽賞新人賞受賞者のヴァイオリン奏者・上敷領藍子さんと深見まどかのピアノによるデュオリサイタルとして遂行することになりました。また、出演者変更に伴い曲目を若干変更し、ドビュッシーヴァイオリンソナタの代わりにドビュッシーのピアノソロ曲を演奏致します。ラヴェル、フランク、武満徹のデュオ作品に変更はございません。

上敷領さんと私は昨年、島本音楽協会主催のデュオリサイタルで共演し、真摯な音楽作りと抜群の安定感で支えてくださり、公演は成功をおさめました。このような状況下で快く依頼に応じてくださった上敷領さんに深く感謝し、お客様にとって良き時間となりますよう、精一杯演奏させていただきます。

公演内容変更に伴い、ご来場いただけないお客様にはチケットの払い戻しをいたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。

お客さまにはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜りますよう、謹んでお詫びとお願いを申し上げます。

深見まどか

■上敷領藍子 (Aiko Kamishikiryo) ヴァイオリン プロフィール

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を卒業後、同大学音楽学部を三菱地所賞を受賞し首席卒業。同大学大学院修士課程を修了。学内にて二度のアカサス音楽賞を受賞。また2011年よりオランダ・マーストリヒト音楽院にて研鑽を積み、特別賞を得て首席卒業。大阪国際音楽コンクール、宗次エンジェルヴァイオリンコンクール、バルレッタ国際音楽コンクール、レオポルド・ベラン国際音楽コンクール等国内外のコンクールにて多数受賞。また、青山音楽財団より新人賞、リゾナーレ音楽祭にてハイドン賞など受賞。これまでにオーケストラアンサンブル金沢、藝大フィルハーモニア管弦楽団、日本センチュリー交響楽団などオーケストラとも多数共演。2012年度野村財団奨学生。京都コンサートホール主催「Join us! キョウト・ミュージック・アウトリーチ」第1期登録アーティスト。これまでに本多智子、田淵洋子、浦川宜也、梶山久美、玉井菜採、ボリス・ベルキン、ジェラルド・プーレの各氏に師事。2016年に帰国し、国内外にてソロ、室内楽、オーケストラのゲストコンサートマスターなど各分野において幅広く演奏活動をしている。 公式HP www.kamishikiryoaiko.com